



▲昨年の活動の様子

関西を中心に全国各地から集まった学生が、舞鶴の魅力を発信する「若者100人会議」が9月6日(木)～8日(土)にかけて舞鶴をフィールドに行われます。

同会議は、究極人プロジェクト実行委員会が主催するもので、学生たちが小グループに分かれて市内各地域を回り、地域の課題を見つけ、問題提起や解決策を考え発表。併せて、発見した舞鶴の魅力(SNS(ソーシャルネットワークサービス)など)を使って全国へPRします。

学生1人あたりのSNSの平均フォロワーは約700人、100人が舞鶴を訪れること

9月6日～8日 舞鶴で若者100人会議

学生の感性で舞鶴をPR



▲左から多々見市長、竹中社長、西嶋副理事長

市と市土地開発公社は、船舶用部品などを製造している和幸産業

工場増設に伴い土地売買契約を締結

喜多工業団地の土地を活用

で約7万人のフォロワーに舞鶴の情報が拡散します。

6日・7日には、学生たちがそれぞれの感性を持って市内で活動します。期間中に学生の皆さんを見かけたときはぜひ取材や情報提供などに協力ください。

▼詳しくは、究極人プロジェクト実行委員会(移住・定住促進課内、☎66・1085)へ。



株式会社(神戸市)と同社工場舎多)の増設に伴う土地売買契約を7月24日に締結しました。市役所で行われた調印式では、多々見市長、西嶋久勝・土地開発公社副理事長、竹中和雄・和幸産業株式会社代表取締役社長が契約書を取り交わしました。締結した土地の敷地面積は約1万平方メートル、アルミ溶接工場や塗装工場の建設を予定しています。

市としては、今後も企業誘致活動を積極的に進め、地域経済の安定成長と経済規模の拡大、雇用の促進を目指します。

《企業立地・雇用促進課》



▲コマやけん玉、折り紙で交流

市内の児童が使節団と交流

大連市少年使節団が来訪



▲児童の質問に答えるファジロフ大使

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、本

引揚記念館で児童・生徒と交流

ウズベキスタン駐日大使が来訪



▲お手玉で交流

友好都市・大連市(中国)から大連市少年使節団(李軍団長、23人)が8月1日～5日に来訪しました。

市でのレスリングと柔道の事前合宿が予定されているウズベキスタンのファジロフ・ガイラト駐日特命全権大使が7月25日、舞鶴市を訪問しました。

同日、大使は市役所を訪れ多々見市長を表敬訪問。

その後引揚記念館を訪れ、シベリア抑留の資料を見学したほか、市内の高校生やレスリング・柔道教室の児童・生徒たちと両国に関する質問や意見交換など行い交流を深めました。

《2020東京五輪ホストタウン推進本部》

2日には、与保呂小学校を訪問。けん玉やコマ、おはじき、折り紙などの日本伝統の遊びを一緒に楽しんだほか、舞鶴側から獅子舞や合唱、大連側から京劇、伝統楽器の合奏、ダンスを披露して交流しました。

3日には、市役所を表敬訪問した後、赤れんが博物館などを見学し、ホームステイを体験しました。

大連市との交流は平成4年から両市が交互に使節団を派遣しているもので、大連市からの訪問は今回で11回目となります。

《みなと振興・国際交流課》



▲ダビンチを操作する参加者



▲手術支援ロボット「ダビンチ」

医師や看護師、薬剤師などの仕事で体験できる医療現場体験イベント「ミッション・イン・ホスピタル」

手術支援ロボット「ダビンチ」の操作を体験

医療現場体験イベント「ミッション・イン・ホスピタル2



▲採血実習を体験



▲手術室で電気メスの操作を体験

ル2が8月5日、舞鶴共済病院で行われ市内外の中学生、高校生120人が参加しました。

医療の現場を知ってもらうことで、進路を考えるきっかけにし、将来、地域医療の現場で活躍してもらう人材に育つことを期待して、市と地域医療推進協議会が開催。会場では、医師や看護師など9種の部門の仕事を紹介。それぞれ患者の命を救うための業務(ミッション)が用意され、業務体験や医療機器の見学などを行いました。看護部では脈拍・血圧測定、採血のほか心臓マッサージなどを実施。医師部門では、手術支援ロボット「ダビンチ」の操作体験も行われ、参加者たちは医療の最先端を体験しました。

《地域医療課》

舞鶴市議会基本条例の策定にあたり、市議会パブリック・コメント手続制度(市民意見提出制度)に基づき、市民の皆さんから同条例の素案に対する意見を募集した結果、3人から26件の提出がありました(募集期間：5月29日～6月27日)。

寄せられた意見は素案の修正を行うものが1件、具体的な取り組みに関する計画で検討するものが3件、趣旨がすでに盛り込まれているものが4件、市議会の考え方を説明し、ご理解いただくものが14件、案に対する間接的な意見に対し、市議会の考え方を説明するものが4件でした。主な意見の概要などは下表のとおりです。

《閲覧できます》素案の概要やパブリック・コメント手続制度の結果は、議会事務局、市政情報コーナーで閲覧できます。市ホームページ

市議会基本条例(素案)に26件

市議会パブリック・コメント手続制度の結果

《寄せられた主な意見の概要と市議会の考え方》

意見の概要	市議会の考え方
素案の修正を行うもの	
全体に「市勢」と「市政」という同じ読みの言葉が出てきており、意味はそれぞれあるが、混同される可能性もあるため、分かりやすい表現にできないか。	意図するところを端的に表現するため、このような書きぶりとしております。検討の結果、条例の規定は素案どおりとし、前文の「趣旨及び考え方」に、「市勢」及び「市政」の解説を追加します。
趣旨がすでに盛り込まれているもの	
市議会に提案されている重要議案は率先して公開し、市民の意見を聴くことが必要。また、提案されている議案は市民からの求めに応じ採決前にも公開することを求める。条例にも明示するべき。	情報の公開と市民意見の聴取については、議会の活動の原則、議員の活動の原則、広報及び広聴の充実、市民の参画等の条項において、重ねて記載しております。なお、議会に提案された議案は、その日のうちに、議会ホームページに掲載するとともに、市政情報コーナー等に配架し、市民の皆さんに御覧いただける状態としております。
市議会の考え方を説明し、御理解いただくもの	
抽象的な議会用語の羅列で、具体的な議会の施策が見えてこない。「趣旨及び考え方」において説明するなど、具体性を持たせるべき。	前文で議会改革の理念と目指すべき目標、その実現に向けた議会の決意を宣言し、条例本文ではそのために必要な基本的事項を定めております。その上で、これを実現するための具体的な取組については、条例にも明記しておりますとあり、議員の任期を計画期間とする実行計画を策定し、実施することとしております。

にも掲載。
▼詳しくは、議会事務局(☎66・1060)へ。

京都府総合防災訓練を実施

京都府と綾部市、舞鶴市、福知山市が主催する京都府総合防災訓練を綾部市で開催。同訓練は、防災関係機関の連携強化と地域住民の防災意識を高めるために実施するもので、市も一部訓練に参加します。

また、防災展示や体験コーナーも実施。

【日時】9月2日(日)10時～12時
【場所】綾部市総合運動公園
▶詳しくは、危機管理・防災課(☎66・1089)へ。